

きゆうしゅう



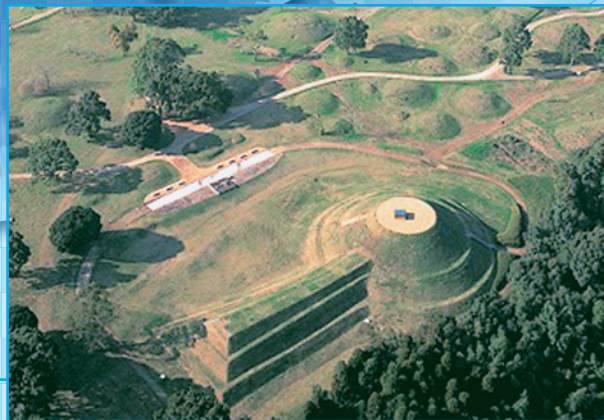
編集・発行 九州防衛局 総務部 福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎内 TEL092-483-8811



新富町の花『ルピナス』
(宮崎県児湯郡新富町)



航空自衛隊 新田原基地



西都原13号墳
(宮崎県西都市)

目次 CONTENTS

- 1 航空自衛隊新田原基地紹介
- 2 自治体紹介～宮崎県児湯郡新富町、西都市～
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 インフォメーション



にゆうたばる

航空自衛隊 新田原基地紹介

1

新田原基地司令要望事項

- ・チーム新田原
- ・地域とともに

基地司令挨拶



第5航空団司令 兼 新田原基地司令
空将補 内倉 浩昭 (うちくら ひろあき)

九州防衛局広報「きゅうしゅう」をご愛読の皆様、基地司令の内倉です。

当基地は大小9つの部隊で構成されており、「チーム新田原」として一丸となって任務に邁進しています。福岡県築城基地と共に西の空の守りを担っているほか、戦闘機操縦資格の付与を任務とする教育部隊と戦闘機部隊を鍛えることを任務とする飛行教導隊が併置されていることから「戦闘機パイロットの聖地」とも言われています。

近年これに加え、口蹄疫発生時に行った防疫活動のほか、民間空港が被災した場合の空輸拠点として、更には近隣住民の一時待避拠点としての期待も高まっています。このため、防空、教育、防災を3本柱に据え「強さと優しさを兼ね備えた基地」をコンセプトに基地を運営しています。

当基地は「地域とともに」を合言葉に、所在地である新富町をはじめ西都市、高鍋町、宮崎市、木城町などの自治体や各協力団体との間でチーム新田原の10番目の選手と称しても過言ではないほど一体感のある関係を維持しています。富田浜清掃、西都夏祭り、高鍋城灯籠祭など各自治体の代表的な行事だけでなく、ボランティア活動、部活動のコーチなど日常の様々なシーンで地域に溶け込んでいます。

アジア太平洋地域の安全保障環境が厳しさを増す中、当基地は西日本で太平洋に面した唯一の航空基地として戦略的意義は徐々に高まっていくと思われます。引き続き隊員一丸となって地域に信頼される基地、結果を出せる基地を目指し真摯に任務に取り組んで参ります。

基地の沿革・概況

次ページで特集

～ 沿革 ～

昭和15年	陸軍新田原飛行場ができる	昭和40年	救難航空隊新田原分遣隊を新田原救難隊に改称
16年	陸軍挺身練習部及び挺身飛行隊が設置	42年	西部航空方面隊第2作業隊新設
17年～	南方方面作戦の基地となる。	44年	基地広報史料館開館
20年	終戦	53年	新田原警務分遣隊を新田原地方警務隊に改称
22年	農林省に所管換え、開拓農地として民間に払下げ	58年	飛行教導隊(T-2)築城基地(福岡県)から移動
32年	新田村長と防衛庁の間で覚書が取り交わされ新田原基地を設置することが決定	59年	第202飛行隊F-104JからF-15に機種更新
33年	新田原管制、気象、警務分遣隊設置	平成 2年	飛行教導隊T-2からF-15に機種更新
34年	滑走路完成	3年	F-4EJ改初号機受領
	新田原管制分遣隊、新田原気象分遣隊をそれぞれ新田原管制隊、新田原気象隊に改称	12年	飛行教育航空隊編成
35年	救難航空隊新田原分遣隊を設置	19年	基地創設50周年
36年	第5航空団(F-86F)が松島基地(宮城県)から移動	22年	宮崎県南部で発生した口蹄疫に対する災害派遣で車両等の消毒を支援
38年	第5航空団F-86FからF-104Jに機種更新	23年	鳥インフルエンザ発生に伴う災害派遣で鶏舎の消毒などを支援

防衛大臣

航空幕僚監部

航空総隊

西部航空方面隊

新田原基地

第5航空団

西部航空施設隊 第2作業隊

航空救難団

新田原救難隊

飛行教導隊

航空支援集団

航空保安管制群

新田原管制隊

航空気象群

新田原気象隊

航空教育集団

飛行教育航空隊

航空警務隊

新田原地方警務隊

～ 基地概況 ～

人員：約1,800名
 総面積：約283万㎡(約86万坪)
 滑走路：2,700m×45m
 主要装備品：F-15J/DJ 戦闘機
 F-4EJ 改戦闘機
 T-4 中等練習機
 短SAM、携SAM、軽装甲機動車
 VADS

主要機種紹介



F-4EJ改戦闘機

乗員・・・2人
 全幅・・・約11.7m
 全長・・・約19.2m
 全高・・・約5.0m

エンジン搭載数・・・2基
 最大速度・・・マッハ約2.2
 最大航続距離・・・約4,600km



F-15J/DJ戦闘機

乗員・・・1人/2人
 全幅・・・約13.1m
 全長・・・約19.4m
 全高・・・約5.6m

エンジン搭載数・・・2基
 最大速度・・・マッハ約2.5
 最大航続距離・・・約4,600km

所属部隊紹介



第5航空団

第5航空団は、戦闘航空団としての基本任務（※）及びF-4による機種転換操縦課程の教育訓練を実施しています。

※九州南部周辺～奄美群島地域の領空の対領空侵犯措置を任務としています。



飛行群

飛行群は、西部防衛区域における警戒待機及び戦技・戦法の開発と練磨、F-4EJ改操縦者に対する操縦教育などを行っています。



整備補給群

整備補給群は、航空機・車両の点検整備や燃料、弾薬などの管理、災害派遣のための物資の保管、補給などを任務としています。



基地業務群

基地業務群は、庁舎及び滑走路等施設の維持管理、基地の警備、通信、厚生、会計、衛生業務などを任務としています。

その他部隊

西部航空施設隊
第2作業隊

基地内の道路などの各種土木工事、隊員への技術指導、除雪作業などを主任務としています。



飛行教導隊

対戦闘機戦闘にかかわる戦技・戦法の研究及び戦闘機パイロットの技量向上のため各基地で指導を行っています。

航空気象群
新田原気象隊

全国各地の飛行場及び飛行コースの気象状況を把握し、パイロットに情報を提供して、航空機を安全に飛行させることを任務としています。



新田原地方警務隊

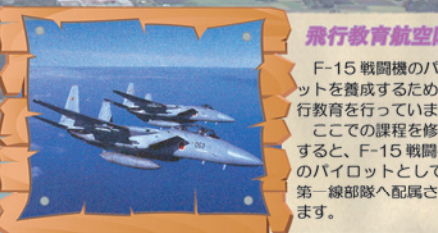
部内秩序の維持のための犯罪捜査、交通統制及び警護等の保安業務を行っています。

航空救難団
新田原救難隊

航空救難及び緊急空中輸送を主任務とし、通称「メディック」と呼ばれる隊員が、あらゆる場面での救難能力を身につけているので、救難隊は救難活動の『最後の砦』とも言われています。

航空保安管制群
新田原管制隊

新田原飛行場及び周辺空域の飛行場管制ならびに着陸誘導管制業務を行っています。



飛行教育航空隊

F-15戦闘機のパイロットを養成するための飛行教育を行っています。ここでの課程を修了すると、F-15戦闘機のパイロットとして、第一線部隊へ配属されます。

基地の任務

背景写真：F-4EJ

・防災

～ 地域とともに ～

新田原基地は、『防空・教育・防災』の3本を柱とし、『防空』は「日本の空を守る」をもとに対領空侵犯措置を任務とし、『教育』は隊員としての基礎教育や訓練、それぞれの専門知識や技術などを身につけることを目的としています。本号では、残り1本の柱である『防災』について、地域とのつながりを大切にする新田原基地が普段から参加している近隣地域の防災訓練等のうち『西都市総合防災訓練』（第5航空団、新田原救難隊が参加）を取り上げています。

～ 西都市総合防災訓練への参加～

■ 平成25年6月に実施された西都市総合防災訓練は、参加者約440名で防災関係機関と地域住民が一致協力して、総合的な防災訓練を実施することにより、協力態勢の確立、地域防災計画の検証、住民の防災への意識改革を図ることを目的として行われました。

この訓練において、新田原基地からは現地合同災害対策本部、孤立被災民の救出及び救急患者搬送訓練に参加したほか、小型浄水ろ過装置、救護テント（エアータント）の展示を行いました。

※ 主な参加機関

西都市、西都市消防本部、消防団、宮崎県防災救急センター、西都土木事務所、西都警察署、西都市赤十字奉仕団、西都市地域婦人連絡協議会、陸上自衛隊都城駐屯地第43普通科連隊ほか



災害対策本部において、収集した被災情報及び訓練想定をもとに、各機関の講ずる対策を各々示しています。



孤立住民の搬送訓練を行う救難隊のヘリ（UH-60J）



救護テント（エアータント）を設置し展示



小型浄水ろ過装置を設置し展示



陸上自衛隊都城駐屯地第43普通科連隊による倒壊家屋からの救出訓練



西都市地域婦人連絡協議会等による野外炊飯の炊き出し活動

広報・イベント情報

新田原エアフェスタ (新田原基地航空祭)

平成25年12月1日(日) 新田原基地航空祭が開催されます。ブルーインパルスの曲技飛行をはじめ、各種航空機やコックピットの展示など、さまざまなイベントが行われる予定ですので、皆様のお越しを隊員一同お待ちしております。

新田原基地の詳細イベントにつきましては、基地ホームページもしくは新田原基地広報班までお問い合わせ下さい。

(0983)-35-1121(代)
<http://www.mod.go.jp/asdf/nyutabaru/>

新田原基地 検索

12月1日(日)開催



例年の来場者数は8万人～10万人規模のビッグイベントです!!

ブルーインパルス展示飛行



昨年は飛行救難隊のUH-60Jによる救難展示や陸海空自衛隊約30機の地上展示、コックピット見学なども行われました。今年の航空祭も来場者の方々に楽しんでいただけるような多くのイベントを現在企画中です。



西部航空音楽隊演奏会

航空自衛隊春日基地(福岡県春日市)に本拠を置き、九州、中国、四国地方を主なエリアとして活動している、西部航空音楽隊による演奏会を毎年1回開催しております。

今年の演奏会は既に終了しましたが、航空自衛隊の音楽隊として、クラシックからポップスまで心温まる演奏をお届けしております。



その他、基地見学会なども行っておりますので基地HPを御覧下さい。



平成25年9月15日に開催された『ふれあいコンサートin新田原』

“九州防衛局からのお知らせ” 『パネル展』開催

九州防衛局では、自衛隊の創立記念行事や航空祭、自衛隊音楽隊の演奏会などにおいて、九州防衛局の業務内容や防衛白書をパネルにて展示を行っております。開催予定は下記のとおりになりますので、是非、当局ブースへお立ち寄りください。



開催日	開催場所	イベント名
平成25年10月27日(日)	航空自衛隊 築城基地	築城基地航空祭
平成25年11月17日(日)	航空自衛隊 芦屋基地	芦屋基地航空祭
平成25年12月1日(日)	航空自衛隊 新田原基地	新田原エアフェスタ2013



2 自治体紹介



こゆ しんとみ
宮崎県児湯郡 新富町

町民が主役
町民との協働のまちづくり



〒889-1493
宮崎県児湯郡新富町大字上富田7491番地
<http://www.town.shintomi.miyazaki.jp/>



新富町長 土屋 良文
(つちや よしふみ)

町長あいさつ

新富町は、宮崎県のほぼ中央に位置し、県都宮崎市の北側に隣接し、太平洋に面した人口約18,000人の町です。主な産業は、沿岸部特有の温暖な気候や一ツ瀬川の豊富な水、長い日照時間を活かした農業で、ピーマンやきゅうり、トマトなどの施設園芸をはじめ、畑作では甘藷、畜産では鶏や肉用牛、酪農など、他にも洋らんや茶、養鰻業が盛んです。

また、自然も豊かで東側の日向灘に面する富田浜は、宮崎県の天然記念物であるアカウミガメの西日本でも有数の産卵地であり、毎年数百頭が上陸産卵しています。

本町は、「町民が主役」、「町民と町との協働」「オンリーワン」のまちづくりを推進し、人と人とのつながりや人と地域のつながりを育む“絆”「新富力」をもって、町民一人ひとりの力を結集し、「やっど新富」の意気込みで「キラリと輝く元気な新富町」の実現を目指しています。



1 サマーフェスティバルin一ツ瀬 (毎年8月開催)
尺玉花火の打ち上げ数が県内最大級(約5000発)を誇る、町を代表するビッグイベントとして定着しています。

特徴で、その特性を生かしてさまざまな名物料理が生み出されています。また、県内有数のソバの産地であり、十割そばやひきたてにこだわった料理を町内で提供しています。

写真：航空自衛隊新田原基地司令(左)と新富町長(右)

町民とまちと基地で『まちづくりを推進』

航空自衛隊新田原基地は、町の中央に所在し、隊員の皆さんには本町のイベントやスポーツ少年団の指導、ボランティア活動に積極的に参加していただいています。

毎年8月に開催する『しんとみレガッタ(漕艇競技)』には、町民の皆さんと競い合いなどで交流を深めています。

また、日米共同訓練時には、地元と親善パーティーを開催し、町民の安心・安全の確保を図るため、自衛隊と米軍との親睦を深めています。今後も基地と米軍と有効な関係を保ち、安心・安全の確保を図りながら、まちづくりを推進してまいります。



『しんとみレガッタ(漕艇競技)』(毎年8月開催)

2 自治体紹介



さいと 宮崎県西都市

こんね!
四季を彩るロマンのまち
西都

西都市長
橋田 和実（はしだ かずみ）
〒881-8501
宮崎県西都市聖陵町2丁目1番地
<http://www.city.saito.miyazaki.jp/>



■ 西都原古墳群

昭和27年に国の特別史跡の指定を受けている古墳群です。東西約2.6km・南北4.2km・標高50～80mの台地に4世紀前半から7世紀前半にかけての古墳311基が、点在しています。

市長あいさつ

西都市は宮崎県のほぼ中央に位置し、車で宮崎市街地から約40分、宮崎空港から約50分のところにあります。かつては古代日向の都として栄え、『古事記』『日本書紀』に登場する伝承地が市内に数多く残るとともに、日本最大の311基の古墳が集まる国の特別史跡「西都原（さいとばる）古墳群」や、天正遣欧少年使節の正使としてローマ法王に謁見した伊東マンショが誕生した国の史跡「都於郡（とのおおりの）城跡」があるなど歴史ロマンあふれるまちです。

西都原台地には、春は桜と菜の花、夏はひまわり、秋はコスモスが咲き誇り、年間約100万人の観光客が訪れる県内でも有数の観光地です。また、野球やサッカーをはじめとした多くのプロ・アマチュアチームのスポーツキャンプ地としても知られています。

温暖な気候と豊かな大地から生み出される農畜産物は、全国でも高く評価されています。その代表的なものがピーマンやスイートコーン、ニラ、そして完熟マンゴーです。

そのほか、東米良地区のゆずを原料とする加工品や良質な水と甘藷を原料につくられた焼酎もお土産品として人気があります。

現在は、「食」を軸に地域の活性化や雇用の創出、人々に癒しと活力を与えることができる「食」創生都市づくりを主要テーマとして位置づけ、「元気な日本のふるさと『西都』」を目標に事業を展開しているところです。

西都市は航空自衛隊新田原基地の開設以来、市と基地とが良好な関係を構築・維持しております。今後もこの関係を大切にし、更なる共存共栄に努めてまいります。



▲ 西都原の桜と菜の花（3月下旬）
2,000本の桜と30万本の菜の花がとても美しく、多くの観光客で賑わいます。夜にはライトアップもされ、夜桜も楽しめます。

▼ 西都古墳まつり（11月上旬）

「現代の中に古代をめざして」をコンセプトに行われているまつりで、古代神話をたいまつ行列、炎の祭典等で表現しています。特にたいまつ行列は一般参加が可能で毎年多くの方々に参加をいただいています。

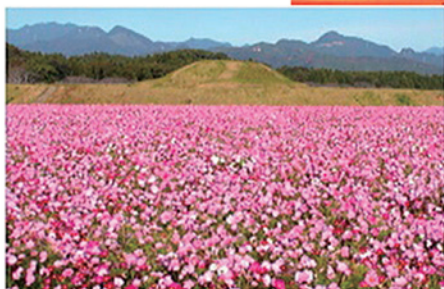


開催場所：西都原御陵墓前広場



▲ 都於郡城跡（国指定）

南北朝時代建武2年（1335年）伊豆から南向した伊東氏が高屋山上陵伝承地の都於郡の地に築いた山城で、以来242年にわたり日向の地を治めた伊東氏累代の居城としてその栄華を極めました。標高100mの台地にあり、廻りを急峻な断崖に囲まれ、西北方は三財川が外堀の役割を果たし、五つの城郭から構成された堅固な城で、遠くから眺めた様が、舟が浮いているように見えたところから、別名「浮舟城」と呼ばれています。



▲ 西都原コスモス（10月中旬～11月中旬）
古墳と霧島連山の雄大なパノラマを背景に8ha300万本のコスモスが西都原古墳群一帯に咲き誇ります。



▲ 西都市観光協会シンボルキャラクター
「ニニギくん」(左)と「コノハちゃん」(右)

③ 九州防衛局業務紹介

宮崎防衛事務所



〒880-0904

宮崎市中村東1-2-29 TEL (0985) -54-1658

【管轄区域】 宮崎県 鹿児島県

- 宮崎防衛事務所は宮崎県及び鹿児島県を管轄区域としています。

管内には新田原基地、鹿屋航空基地、霧島演習場などの特定防衛施設のほか、約20の駐屯地・基地などの防衛施設が所在しています。

これらの防衛施設の円滑なる運用・各種訓練の実施にあたり、関係地方自治体及び地域住民等との連絡調整及び交渉に係る業務支援、九州防衛局が執り行う障害防止・民生安定事業及び漁業・農業等に係る損失補償等の措置の業務支援、防衛問題セミナーの開催及び防衛白書説明などの協力確保事務の支援に少数精鋭で従事しております。

その他、地元情勢の把握のため、各種行事等への積極的な参画を行っております。

地方協力確保事務

- 九州防衛局では、防衛省・自衛隊の施策や活動について、広く地域住民等の皆様にご理解いただくため、防衛白書の説明、日米交流事業、防衛問題セミナーや自衛隊の活動などの写真パネル展などを行っています。

平成25年版 防衛白書発行・地方公共団体等への説明

防衛白書は、わが国の防衛の基本について国民の理解を深めるため毎年刊行しているもので、平成25年版で39回目になります。

平成25年版防衛白書は、一層厳しさを増すわが国周辺の安全保障環境や、それに対して、国民の生命・財産とわが国の領土・領海・領空を断固として守り抜くため防衛省・自衛隊が行っている広範多岐にわたる取組について、より多くの方々に分かり易くお伝えできるようにコラムや図表を充実させながら作成しています。



河野宮崎県知事（写真中央）への説明

九州防衛局では今年7月に刊行した平成25年版防衛白書について、地方協力本部及び各部隊と連携し、九州各地の地方公共団体等に説明に伺い、理解を深めて頂き、防衛省・自衛隊との連携強化を図ることを目的として実施しているものです。

なお、防衛白書については、市販されているほか、防衛省のホームページにも掲載しておりますので、ぜひ御覧ください。

防衛省ホームページ

<http://www.mod.go.jp/j/publication/wp/index.html> (パソコン版)

スマートフォン向けダイジェスト版

<http://www.mod.go.jp/sp/j/publication/wp/wp2013/sp/index.html>

スマートフォン向けのダイジェスト版は、スマートフォンのカメラで左のQRコードを読み取るか、QRコードをタップしてアクセスしてください。

(PCでアクセスしても正しく表示されません。)



4 インフォメーション

九州防衛局管内 優秀工事等に顕彰状贈呈

■ 九州防衛局顕彰状被贈呈者（敬称略）

- ・株式会社 昭大建設 <長崎県対馬市>
海・対馬外（24）護岸改修等土木工事
- ・株式会社 朽原建設 <長崎県東彼杵郡>
横瀬貯油所（23）消防署新設土木工事



写真：前列左から
株式会社昭大建設、調達部長、株式会社朽原建設

■ 7月上旬、九州防衛局及び熊本防衛支局において、九州防衛局は調達部長から熊本防衛支局は支局長から、それぞれ平成24年度に完成した工事等の中から優秀工事として選定された受注者5社に対し優秀工事顕彰状が手渡されました。

本顕彰制度は、九州防衛局及び熊本防衛支局が発注する建設工事等のうち、困難な状況下にもかかわらず発注者の要求を的確に反映し、優秀なる技術をもって期限内に完成させ、他の模範とするにふさわしいものを優秀工事として顕彰することにより、入札参加者の受注意欲を高め、工事目的物の品質確保を図る等、施設取得の円滑な推進に資することを目的に、平成20年度から実施しているものです。

■ 熊本防衛支局顕彰状被贈呈者（敬称略）

- ・豊明建設 株式会社 <鹿児島県鹿屋市>
沖永良部島（22）隊庁舎新設等建築工事
- ・株式会社 アクエアー <宮崎県都城市>
都城（24）五十市宿舎公共下水道接続等土木その他工事
- ・栗原工業 株式会社 九州支店 <福岡県福岡市>
新田原（21）滑走路灯火等整備工事



写真：前列左から
豊明建設株式会社、熊本支局長（当時）、
株式会社アクエアー、栗原工業株式会社九州支店

感謝状贈呈 ～前防衛施設地方審議会委員～

■ 7月25日、九州防衛局において、九州防衛施設地方審議会委員として永年にわたりご尽力いただいた森本廣氏に榎道明宏九州防衛局長から感謝状を贈呈いたしました。

森本廣氏は、平成15年5月から平成25年5月までの10年間委員として、我が国の防衛に対する深い理解のもとに、その豊富な経験から審議会の円滑な運営に多大な貢献をされました。

今回の感謝状は、これまでのご功績に対し当局の深い感謝の意を表するものです。



写真：森本廣氏（右）
榎道九州防衛局長（左）

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

- ・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日。
 - ・上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい。
- <http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>